



公設民営「新大江病院」まもなく2歳



全国的に自治体病院改革の動きが出ています。また、医師不足も大きな問題です。国保新大江病院は、平成17年4月に公設民営化し「全国初の住民主体の指定管理」経営に改革され、まもなく2年が経過します。昨年は、全国から多くの視察者(北海道～鹿児島まで18都府県25市町)を迎え、自治体病院改革が喫緊の課題であると痛感しました。適切な地域医療サービスを提供し、市民の皆さんに信頼される病院を目指して、更に職員一同研鑽に努めて参りますので宜しくお願いします。



昨年12月より外来待合に足湯装置を設置しております。外来待ち時間の有効利用を考えまして導入いたしました。無料でご利用いただけますので、診察付き添いやお見舞いで見えられた方もご自由にご利用下さい。

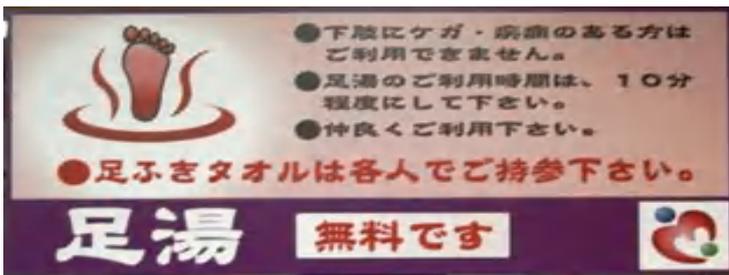
足湯の効用は？

人の体は、冬の寒さや冷え等により、体の新陳代謝が低下し、血液の循環が悪くなります。靴下を履いたり、運動したりしますが、足先は簡単には温まりません。

そこでお勧めが「足湯」です

冷えが原因の体調不良の回復には「足湯」が一番と云われます！

足は第2の心臓と言われるように、全身のツボが点在し、血液循環の重要な役割を担っています。足湯に最適といわれる湯温 42℃で足をつけておくと…ほんの10分ほどで足先がポカポカしてきます。



『皆様の病院』

新大江病院長 竹村 周平

雪が降らない今季、各地で雪不足による行事の中止が報道されていましたが、節分にはやはり雪が降りましたね。足腰の痛みには寒さは禁物、その点では暖冬は歓迎でしょうか。皆様におかれましては、いかががお過ごしでしょうか。

さて病院の年頭挨拶で職員に「四つの誓い」をしました。「安全」で「思いやり」のある医療・介護、「向上心・向学心」それに「経費節減」です。言うは易く、行は難しにならぬよう、各人が自己改革に努力いたします。お気づきの点がございましたら、ご指摘をお願いいたします。皆様のご意見に耳を傾けながら、改善すべきは改善し、「求められ、信頼される病院」を目指して努力します。新大江病院をさらに可愛がっていただき、ますようお願いいたします。

暖冬とはいえ、寒い日も雪の日もあると思います。お元気で楽しい毎日をお送り下さい。

